



県史跡

# 一宮城跡

散策マップ



いちのみやじょうあと

# 一宮城跡について

昭和 29 年 8 月 6 日 県史跡指定

所在 徳島県徳島市一宮町西丁ほか

一宮城跡は徳島市の南西部、鮎喰川右岸にある  
東竜王山系の尾根先端に位置する中世山城です。

南北朝時代の延元 3 年 (1338) に小笠原長宗  
によって築城されたと伝えられ、その後天正 7 年  
(1579) に土佐の長宗我部元親が侵攻するまで、  
小笠原氏の末裔である一宮氏が代々居城としてい  
ました。

一宮城跡は眼下に鮎喰川を望み、また背後は  
急峻な山地に囲まれた天然の要害です。標高 144  
m の本丸を中心に、明神丸、才蔵丸、小倉丸、  
椎丸、水ノ手丸などの曲輪やそれらを防御する  
豊堀、土塁などが東西 800m、南北 500m の  
範囲の尾根筋上に配置されており、徳島県最大の  
規模と堅牢さを誇ります。なお、本丸から北東へ  
500m の平地部にある寄神社周辺には、御殿居と  
よばれる居館跡推定地が広がっています。

天正 13 年 (1585) には蜂須賀家政が入城し、  
阿波支配の拠点として大改修を開始したものの、  
翌年徳島城に本拠を移すことになります。その後  
一宮城は阿波九城のひとつとなりますが、寛永 15  
年 (1638) に 300 年の歴史を閉じ、廃城となり  
ます。

現在、草刈りなどの環境整備は一宮城跡保勝会  
の協力のもと、地域の皆さんによって行われてい  
ます。

# 一宮城跡へのアクセス



公共交通機関で



- JR 徳島駅から、徳島バス天の原西線・一宮線で約 40 分

「一の宮札所前」停留所からすぐ



お車で



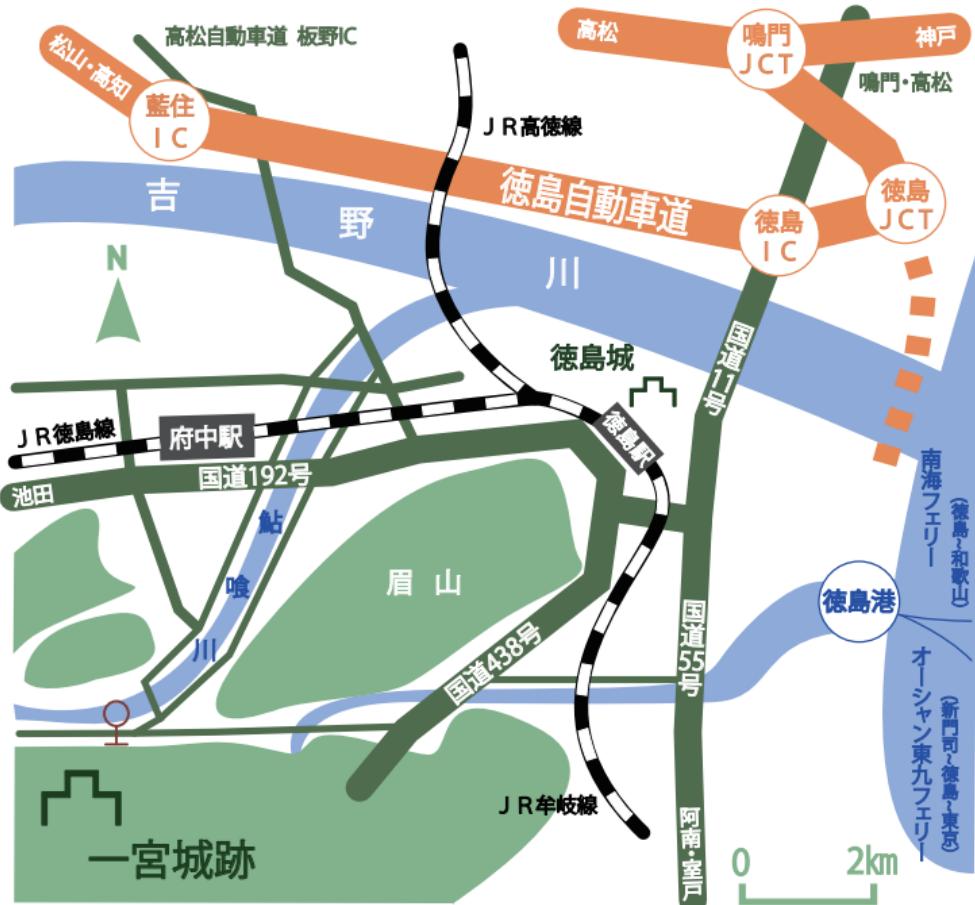
- 神戸淡路鳴門自動車道または徳島自動車道「徳島 IC」

から約 40 分 (15 km)

- 高松自動車道「板野 IC」から約 40 分 (15 km)

- 徳島自動車道「藍住 IC」から約 35 分 (12km)

## 案内図



発行：徳島市教育委員会

連絡先：徳島市教育委員会社会教育課 TEL (088)621-5419